

平成 17 年度 春期 システム監査技術者 午前問題

問 1 ディスプレイの解像度が 800×600 画素のとき, 最大 2^{16} 色の色数で表示できるパソコンがある。解像度を $1,600 \times 1,200$ 画素にしたとき, 表示できる最大の色数は幾らかここで, 主記憶の一部をビデオメモリとして使用することはないものとする。

ア 2^4

イ 2^8

ウ 2^{12}

エ 2^{16}

問 2 フラグメンテーションに関する記述のうち, 適切なものはどれか。

ア 可変長ブロックのメモリプール管理方式では, 様々な大きさのメモリ領域の獲得や返却を行ってもフラグメンテーションは発生しない。

イ 固定長ブロックのメモリプール管理方式では, 可変長ブロックのメモリプール管理方式よりもメモリ領域の獲得と返却を速く行えるが, フラグメンテーションが発生しやすい。

ウ フラグメンテーションの発生によって, 合計としては十分な空きメモリ領域があるにもかかわらず, 必要とするメモリ領域を獲得できなくなることがある。

エ メモリ領域の獲得と返却の頻度が高いシステムでは, フラグメンテーション発生を防止するため, メモリ領域が返却されるたびにガーベジコレクションを行う必要がある。

問 3 顧客が平均到着率 λ でポアソン到着し, サービスが平均サービス率 μ の指数分布に従う待ち行列モデルにおいて, 待ち行列長を L , 待ち時間を W としたとき, L , W , λ , μ の間に成り立つ関係式で正しいものはどれか。

ア $L = \frac{W}{\mu}$

イ $L = W$

ウ $W = \frac{L}{\mu}$

エ $W = L$

問 4 客観的な性能評価を行う目的で設定された指標又はベンチマークのうち, 端末, ネットワーク, ソフトウェアなども含んだ, システム全体としての性能を評価するものはどれか。

ア Dhrystone/MIPS

イ Linpack

ウ SPECint/SPECfp

エ TPC-C

問 5 データマイニングに関する説明として, 適切なものはどれか。

- ア 基幹業務のデータベースとは別に作成され, 更新処理をしない時系列データの分析を主目的とする。
- イ 個人別データ, 部門別データ, サマリデータなど, 分析者の目的別に切り出されカスタマイズされたデータを分析する。
- ウ スライシング, ダイシング, ドリルダウンなどのインタラクティブな操作によって多次元分析を行い, 意思決定を支援する。
- エ ニューラルネットワークや統計解析などの手法を使って, 大量に蓄積されているデータから, 顧客購買行動の法則などを探し出す。

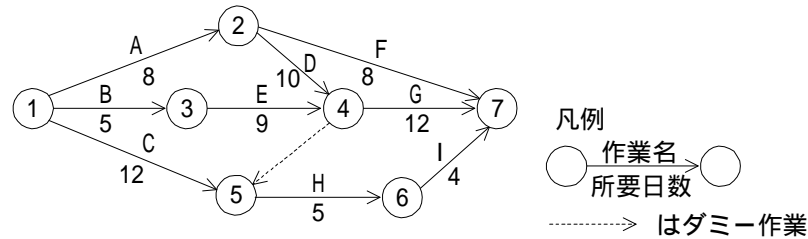
問 6 CMM に関する記述として, 適切なものはどれか。

- ア 各種のソフトウェア設計・開発技法を使って開発作業を自動化し, ソフトウェア開発の生産性向上を図る。
- イ ソフトウェアライフサイクルを, 主プロセス, 支援プロセス, 組織プロセスの三つに分けて作業内容を定め, ソフトウェアプロセスの標準化を図る。
- ウ ソフトウェアを開発する組織のプロセス成熟度モデルを使って, プロセスの改善を図る。
- エ 特定の購入者と製作者の間で授受されるソフトウェア製品の品質保証を行う。

問 7 モジュールの独立性を高めるには, モジュール結合度を弱くする必要がある。モジュール間の情報の受渡し方法のうち, モジュール結合度が最も弱いものはどれか。

- ア 共通域に定義したデータを, 関係するモジュールが参照する。
- イ 制御パラメタを引数として渡し, モジュールの実行順序を制御する。
- ウ データ項目だけをモジュール間の引数として渡す。
- エ 必要なデータだけを外部宣言して共有する。

問 8 あるプロジェクトの作業が図に従って計画されているとき, 最短日数で終了するために結合点
を通過していなければいけないのは, プロジェクトの開始から遅くとも何日後か。



- ア 12 イ 14 ウ 18 エ 21

問 9 RAID において, 信頼性向上ではなく, 性能向上だけを目的としたものはどれか。

- ア RAID0 イ RAID1 ウ RAID3 エ RAID5

問 10 オンラインシステムの障害対策に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア ジャーナルファイルやマスタファイルのバックアップファイルは, すぐに復旧処理ができるようにオリジナルファイルと同一の場所に保管する。
- イ トランザクションの処理が正常に終了できなかったときは, トランザクション開始直前の状態に戻すために, ロールフォワード処理を実行する。
- ウ マスタファイルと一定時間ごとに作成したマスタファイル更新用のトランザクションファイルを用いて, システム障害発生直前の最新データを復元する。
- エ マスタファイルは, オンライン処理の終了時にバックアップファイルを取るだけでなく, システムの特性に応じた時期にバックアップファイルを取る。

問 11 100 人の送受信者が共通かぎ暗号方式で, それぞれ秘密に通信を行うときに必要な暗号かぎの総数は幾つか。

- ア 200 イ 4,950 ウ 9,900 エ 10,000

問 12 X さんは, Y さんにインターネットを使って電子メールを送ろうとしている。電子メールの内容は秘密にする必要があるので, 公開かぎ暗号方式を使って暗号化して送信したい。電子メールの内容を暗号化するのに使用するかぎはどれか。

- ア X さんの公開かぎ
- イ X さんの秘密かぎ
- ウ Y さんの公開かぎ
- エ Y さんの秘密かぎ

問 13 社内のセキュリティポリシーで, 利用者の事故に備えて秘密かぎを復元できること, 及びセキュリティ管理者の不正防止のための仕組みを確立することが決められている。電子メールで公開かぎ暗号方式を使用し, かぎの生成はセキュリティ部門が一括して行っている場合, 秘密かぎの取扱いに関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア 1 人のセキュリティ管理者が, 秘密かぎを暗号化して保管する。
- イ 暗号化された秘密かぎのそれぞれを分割し, 複数のセキュリティ管理者が分担して保管する。
- ウ セキュリティ部門には, 秘密かぎを一切残さない。
- エ 秘密かぎの一覧表を作成して, セキュリティ部門内に限り参照できるように保管する。

問 14 シングルサインオンに関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア クッキーを使ったシングルサインオンでは, サーバごとの認証情報を含んだクッキーをクライアントで生成し, 各サーバ上で保存・管理する。
- イ クッキーを使ったシングルサインオンでは, 認証対象の各サーバをそれぞれ異なるインターネットドメインにする必要がある。
- ウ リバースプロキシを使ったシングルサインオンでは, 認証対象の各 Web サーバをそれぞれ異なるインターネットドメインにする必要がある。
- エ リバースプロキシを使ったシングルサインオンでは, ユーザ認証においてパスワードの代わりにデジタル証明書を用いることができる。

問 15 ハッシュ関数を利用したメッセージ認証に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア 受信者は, 送信者の公開かぎとハッシュ関数を用いてハッシュ値からメッセージを復号する。
- イ 受信者は, ハッシュ関数を用いてメッセージからハッシュ値を生成し, 送信者の公開かぎで復号したハッシュ値と比較する。

ウ 送信者は, 自分の公開かぎとハッシュ関数を用いてメッセージからハッシュ値を生成し, メッセージとともに送信する。

エ 送信者は, ハッシュ関数を用いて送信者の秘密かぎのハッシュ値を生成し, メッセージとともに送信する。

問 16 スパイウェアによって引き起こされた情報の漏えいに該当するものはどれか。

ア 暗号化せずに電子メールを送信したところ, ネットワーク上で内容が読み取られてしまった。

イ インターネットに接続したところ, パソコン内の利用者情報が知らないうちに送信されてしまった。

ウ パスワードを忘れてしまったという電話に対して, システム管理者が教えたのでパスワードが他人に知られてしまった。

エ パソコンをそのまま廃棄したところ, 磁気媒体上に残存していたデータが読み取られてしまった。

問 17 テンペスト技術の説明とその対策として, 適切なものはどれか。

ア ディスプレイなどの機器から放射される電磁波を傍受し, 内容を観察する技術であり, 電磁波遮断が施された部屋に機器を設置することによって対抗する。

イ データ通信の途中でパケットを横取りし, 内容を改ざんする技術であり, デジタル署名による改ざん検知の仕組みを実装することによって対抗する。

ウ マクロ型ウイルスに対して使われる技術であり, ウイルス対策ソフトを導入し, 最新の定義ファイルを適用することによって対抗する。

エ 無線 LAN の信号から通信内容を傍受し, 解析する技術であり, 通信パケットを暗号化することによって対抗する。

問 18 ファイアウォールの方式に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

ア アプリケーションゲートウェイ方式では, アプリケーションのプロトコルごとにゲートウェイ機能の設定が必要である。

イ サーキットゲートウェイ方式では, コマンドの通過可否を制御する。

ウ トランスポートゲートウェイ方式では, アプリケーションのプロトコルに依存するゲートウェイ機能を提供する。

エ パケットフィルタリング方式では, 電子メールの中に含まれる単語によるフィルタリングが可能である。

問 19 通信の暗号化に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

ア IPsec のトランスポートモードでは, ゲートウェイ間の通信経路上だけでなく, 発信側システムと受信側システムとの間の全経路上でメッセージが暗号化される。

イ LDAP クライアントが LDAP サーバに接続するとき, その通信内容は暗号化することができない。

ウ S/MIME で暗号化した電子メールは, 受信側のメールサーバ内に格納されている間は, メール管理者が平文として見ることができる。

エ SSL を使用して接続したとき, ブラウザのディスクキャッシュ内に格納した HTML 文書は, 暗号化したままで保存される。

問 20 ISO/IEC17799 では, 情報セキュリティは三つの事項を維持するものとして特徴付けられている。それらのうちの二つは機密性と完全性である。残りの一つはどれか。

ア 安全性 イ 可用性 ウ 効率性 エ 信頼性

問 21 情報システムのリスク分析に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

ア リスクには, 投機的リスクと純粹リスクとがある。情報セキュリティのためのリスク分析で対象とするのは, 投機的リスクである。

イ リスクの予想損失額は, 損害予防のために投入されるコスト, 復旧に要するコスト, 及びほかの手段で業務を継続するための代替コストの合計で表される。

ウ リスク分析では, 現実が発生すれば損失をもたらすリスクが, 情報システムのどこに, どのように潜在しているかを識別し, その影響の大きさを測定する。

エ リスクを金額で測定するリスク評価額は, 損害が現実のものになった場合の 1 回当たりの平均予想損失額で表される。

問 22 財団法人日本情報処理開発協会のプライバシーマーク制度について説明したものはどれか。

ア OECD のプライバシーガイドラインに準拠している公的機関及び民間事業者を認定する制度

- イ 個人情報を売買する事業者が一定の基準を満たしていることを認定する制度
- ウ 個人情報を保有している事業者に個人情報保護措置の概要を登録させる制度
- エ 事業者が個人情報の取扱いを適切に行うための体制などを整備していることを認定する制度

問 23 米国で運用された TCSEC や欧州政府調達用の ITSEC を統合して, 標準化が進められた CC (Common Criteria) の内容はどれか。

- ア 情報技術に関するセキュリティの評価基準
- イ 情報セキュリティ基礎技術の標準
- ウ セキュリティ管理のプロトコルの標準
- エ 通信サービスに関するセキュリティ機能の標準

問 24 SAML(Security Assertion Markup Language)の説明はどれか。

- ア Web サービスに関する情報を広く公開し, それらが提供する機能などを検索可能にするための仕組みを定めたもの
- イ 権限のない利用者による傍受, 読取り, 改ざんから電子メールを保護して送信するためのプロトコルを定めたもの
- ウ デジタル署名に使われるかぎ情報を効率よく管理するための Web サービスプロトコルを定めたもの
- エ 認証情報に加え, 属性情報とアクセス制御情報を異なるドメインに伝達するための Web サービスプロトコルを定めたもの

問 25 圧縮された情報を伸長しても, 完全には元の情報を復元できない場合がある圧縮方式はどれか。

- ア GIF イ JPEG ウ ZIP エ ランレングス法

問 26 プロダクトポートフォリオマネジメント (PPM) において, 投資用の資金源として適切な事業はどれか。

- ア 市場成長率が高く, 市場占有率が高い事業
- イ 市場成長率が高く, 市場占有率が低い事業

- ウ 市場成長率が低く, 市場占有率が高い事業
- エ 市場成長率が低く, 市場占有率が低い事業

問 27 コアコンピタンスの説明として, 適切なものはどれか。

- ア 経営活動における基本精神や行動指針
- イ 事業戦略の遂行によって達成すべき到達目標
- ウ 自社を取り巻く環境に関するビジネス上の機会と脅威
- エ 他社との差別化の源泉となる経営資源

問 28 バランススコアカードの説明として, 適切なものはどれか。

- ア 環境分析を, 強み, 弱み, 機会及び脅威の四つのカテゴリに分類し, 企業にとっての事業機会を導き出すマネジメント手法である。
- イ 企業のビジョンと戦略を実現するために, 財務, 顧客, 内部プロセス及び学習と成長の四つの視点から検討し, アクションプランまで具体化していくマネジメント手法である。
- ウ 製品を, 導入期, 成長期, 成熟期及び衰退期の四つの段階に分類し, 企業にとっての最適な戦略を立案するマネジメント手法である。
- エ ビジネスを, 問題児, 花形, 金のなる木及び負け犬の四つのカテゴリに分類し, 経営資源配分のバランスをみるマネジメント手法である。

問 29 売掛金が回収できているかどうかを確かめるために, 入金リストと突き合わせる資料はどれか。

- ア 商品別得意先別売上高の ABC 管理に関する資料
- イ 担当者別売上高の営業成果分析に関する資料
- ウ 得意先別売上高と得意先別請求金額に関する資料
- エ 得意先別の与信限度額に関する資料

問 30 連結売上高総利益率は何%か。ここで，B 社は A 社の 100%子会社で，仕入はすべて親会社からであり，売上はすべて親会社以外である。また，期首，期末とも在庫はない。

A 社損益計算書		B 社損益計算書	
売上高	4,000	売上高	1,000
子会社売上高	800	売上原価	800
売上原価	3,000	売上総利益	200
売上総利益	1,800		

ア 34 イ 38 ウ 40 エ 56

問 31 損益分岐点に関する記述のうち，適切なものはどれか。

- ア 固定費が変わらないとき，変動費率が低くなると損益分岐点は高くなる。
- イ 固定費が変わらないとき 変動費率が元の 1 / 2 になると損益分岐点での売上高も 1 / 2 になる。
- ウ 損益分岐点での売上高は，固定費と変動費の和に等しい。
- エ 変動費率が変わらないとき，固定費が小さくなると損益分岐点は高くなる。

問 32 次の財務情報が与えられているとき，ROE（株主資本利益率）は何%か。

売上高	200,000 千円
当期純利益	5,000 千円
総資本回転率	2 回
自己資本比率	40%

ア 2.0 イ 3.1 ウ 5.0 エ 12.5

問 33 品質管理に用いられる図の特徴に関する記述のうち，適切なものはどれか。

- ア 散布図は，1 変数のデータのばらつき状態を知るために役立つ，平均値や標準偏差が容易に求められる。
- イ 親和図は，錯そうした問題点や，まとまっていない意見，アイデアなどを整理し，まとめるために用いられる。
- ウ 特性要因図は，二つ以上の変数の相互関係を表すのに役立つ。

エ 度数分布図は, 原因と結果を対比させた図式表現であり, 不良原因の追及に用いられる。

問 34 作業の標準時間を設定する方法のうち, PTS 法はどれか。

ア 1 人の作業時間をストップウォッチなどで測定し, その測定値を基に全作業者の標準時間を設定する。

イ 作業の担当者に担当業務調査票を配付して, 経験に基づいた事務量や処理時間を記入してもらい, それを集計・分析して, 作業時間の比率や延べ作業時間などを求める。

ウ 統計理論に基づいて, 観測回数や作業時刻を設定して得られた実地観測点数の比率によって, 各作業時間を見積もる。

エ 人間の手作業部分を幾つかの基本動作に分解して, その性質と条件に応じて, あらかじめ定められた時間標準を適用して作業時間を見積もる。

問 35 3PL (3rd Party Logistics) の説明として, 適切なものはどれか。

ア 資材の調達から生産, 保管, 販売に至るまでの物流全体を, 効率的で費用対効果が最大になるよう総合的に管理し, 合理化する。

イ 生産, 在庫, 購買, 販売, 物流などのすべての情報をリアルタイムに交換することによって, サプライチェーン全体の効率を大幅に向上させる。

ウ 電子機器メーカーから, 製品の設計や資材調達, 生産, 物流, 修理などを一括して請け負う。

エ 物流業務に加え, 配送や保管, 流通加工なども含めたアウトソーシングサービスを行い, また, 荷主企業の物流企画全体を代行する。

問 36 プログラムの著作権に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

ア 共同開発したプログラムを他人が利用するためには, 共同開発者の過半数の同意を必要とする。

イ バックアップのためであっても, 購入した市販のプログラムを著作権者の許可なく複製することはできない。

ウ パフォーマンスを上げるために, 著作権者の同意なしにプログラムを改変し, 使用することができる。

エ プログラムの著作権を主張するには, 著作権法に基づく登録が必要である。

問 37 意匠法に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア 形状のデザインが美しいパソコンは, 意匠として登録できる。
- イ 新機能をもったパソコンは, 意匠として登録できる。
- ウ 美術品としてのコンピュータグラフィックス作品は, 意匠として登録できる。
- エ 模倣でなければ, 登録済のものと類似の意匠を使うことができる。

問 38 労働者派遣事業法に適合するものはどれか。

- ア 派遣契約の内容にかかわらず合理的な理由がある場合には, 派遣先の作業指示者の判断で派遣労働者に残業を命ずることができる。
- イ 派遣先の事業所に属する従業員は, 派遣労働者に業務命令を行うことができる。
- ウ 労働者派遣事業法で認められた業務であれば, 派遣先の判断で派遣労働者の業務内容を変更できる。
- エ 労働者派遣事業法で認められた特殊な技能を要する業務であれば, 同一人の派遣を 3 年を超えて行うことができる。

問 39 ソフトウェア開発の請負契約において, 請負業務の検収基準が契約書に明記されていないことが原因で起こり得る問題はどれか。

- ア 納品後, 数年が経過し, 本来有償のアフターサービスで対処すべきと考えられる範囲に対して, 瑕疵の修正作業として無償対応を強いられる。
- イ 納品後の仕様変更や新規機能追加など, 本来有償で対処すべき修正作業についても受託者の瑕疵責任の範囲として対処が要請される。
- ウ 納品時の成果物確認作業が必要以上に長引いたり, 納品物件の追加要求が発生したりする。
- エ 要求仕様どおりに構築したにもかかわらず, 構築したシステムに対して, 新たな機能の追加を要求される。

問 40 コンピュータの不正利用に関する条文を含む法規はどれか。

- ア 刑法
- イ 個人情報保護法
- ウ 著作権法
- エ 不正競争防止法

問 41 “電子帳簿保存法”に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア 国税関係帳簿書類は, 電子帳簿保存法が定める電子計算機システムの要件を満たせば電磁的記録のまま保存できる。
- イ 国税関係帳簿書類を電磁的記録として保存するには, これらを作成するシステム関係書類も備え付けておく必要がある。
- ウ 電子帳簿保存法が対象とする電子取引には, EDI やインターネットによる取引は含まれない。
- エ 電磁的記録について訂正又は削除を行った場合は, その事実及び内容を帳簿として備えておかなければならない。

問 42 “システム監査基準”の一般基準に規定するシステム監査人の精神上的の独立性はどれか。

- ア 監査対象から独立し, 被監査主体と身分上, 密接な利害関係を有しない。
- イ 職業倫理に従い, 誠実に業務を実施する。
- ウ 正当な理由なく, 監査の業務上知り得た秘密を他に開示してはならない。
- エ 偏向を排し, 常に公正かつ客観的に監査判断を行う。

問 43 システム監査の手順に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア 監査作業は, 予備調査, 本調査, 評価・結論の順に実施し, それぞれが計画, 実行, 評価のマネジメントサイクルに対応している。
- イ 評価・結論の作業は, 監査担当者による評価, 被監査部門による評価, 監査責任者による評価を経て, 最終結論を下す。
- ウ 本調査の作業手順は, 現状の確認, 監査証拠の入手, 証拠能力の評価の順に行う。
- エ 予備調査の作業は, 同業他社の状況調査, 被監査部門の過去の監査結果の評価, サンプルングによる実地調査の順に行う。

問 44 情報システムの監査証拠に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア アクセスログやオペレーションログは, 効率性のコントロールに関する監査証拠になる。
- イ 監査証拠は, 必要に応じて妥当な時間内で閲覧できることが要求されるので, 紙に記録する。
- ウ 処理過程をすべて記録・保存しておくことは経済性・効率性を損なう可能性があるため, 必要

十分な監査証跡を決定し, 確保することが大切である。

エ 利用者のニーズの調査結果や費用対効果分析表は, 信頼性のコントロールに関する監査証跡になる。

問 45 表はコンピュータを利用して行うシステム監査技法についてまとめたものである。(1)~(4)の組合せとして適切なものはどれか。

技 法	主な機能					
	システム のテスト	(1)	(2)	(3)	(4)	稼働中のオンラインシステムからのデータ抽出
テストデータ法						
汎用監査ソフトウェア法						
組込み監査モジュール法						
ITF 法						
並行シミュレーション法						
スナップショット法						
トレーシング法						
コード比較法						

	(1)	(2)	(3)	(4)
ア	稼働中オンラインシステムのテスト	プログラムロジックの分析	プログラムの検証	データの抽出
イ	データの抽出	稼働中オンラインシステムのテスト	プログラムロジックの分析	プログラムの検証
ウ	データの抽出	プログラムロジックの分析	稼働中オンラインシステムのテスト	プログラムの検証
エ	プログラムの検証	稼働中オンラインシステムのテスト	データの抽出	プログラムロジックの分析

問 46 システム監査の技法として用いられるサンプリングのうち, 金額にばらつきのある売掛金残高を母集団として, 残高の正確性をテストするのに適したものはどれか。

ア 採択サンプリング

イ 層別サンプリング

ウ 属性推定サンプリング

エ 無層化サンプリング

問 47 監査手続書を説明したものはどれか。

- ア 監査計画の段階で作成されるものであり, 監査手続と実施記録の記載欄から構成される。
- イ 監査手続の実施結果を記録したものであり, 監査報告書に添付される。
- ウ 個別計画書に先立って作成されるものであり, 個別計画書作成の際にその内容を参照される。
- エ 個別計画書をより詳細化したものであり, 予備調査の手順, 方法などが記述される。

問 48 システム監査の個別計画書の記載内容を説明したものはどれか。

- ア 個別計画書に記述される監査時期, 監査日程には, 本調査だけでなく, 予備調査や監査結果の報告会, フォローアップも含める。
- イ 個別計画書に記述される監査手続とは, 監査項目に対応した監査の基本方針のことである。
- ウ 個別計画書の監査対象ごとに重点監査テーマが設定され, 記載されており, システム監査の方針となる。
- エ 個別計画書は監査の具体的な実行計画なので, 計画策定後はその内容をたとえ組織体の長の意向であっても変更すべきではない。

問 49 情報システムの可用性監査において, システム障害報告書に基づき再発防止策の効果をレビューする項目として, 適切なものはどれか。

- ア 回復許容時間の予測値
- イ 障害原因と障害発生時の停止時間
- ウ 障害報告書の承認体制と承認状況
- エ 前期及び当期の障害原因別の障害発生件数と停止時間

問 50 システム監査人が行うフォローアップ活動はどれか。

- ア 被監査部門の改善活動が計画どおりに行われるよう, 改善実施プロジェクトの進捗管理を行う。
- イ 被監査部門の改善活動状況について, 計画どおりに行われているかどうかを定期的に確認する。
- ウ 被監査部門の改善活動に関してその効果を測定し, 結果を被監査部門の長に報告する。
- エ 被監査部門の改善活動を技術的に支援する。

問 51 コストセンタであるシステム部門において, システムコスト配賦の妥当性を確かめるための監査
手続はどれか。

- ア システム部門として, ユーザ部門から独立した損益計算が行われているかどうかを確かめる。
- イ システム部門のシステムコストを, ユーザ部門に合理的な方法で配賦しているかどうかを確かめる。
- ウ ユーザ部門のシステムコストを合理的な方法で集計し, 再配賦しているかどうかを確かめる。
- エ ユーザ部門のシステムコストを, システム部門のシステムコストに含めて, 合理的に集計しているかどうかを確かめる。

問 52 新システムへの移行に関するシステム監査の結果, 指摘事項となるものはどれか。

- ア 移行作業と併せて, システム運用部門及びシステム利用部門に対する新システムの操作教育を計画し, 実施していた。
- イ 移行対象, 移行方法, 移行実施体制及び移行スケジュールを明記した移行計画に従って, 移行作業を行っていた。
- ウ 移行ツールを利用して, データベースの移行及び移行結果の確認を行っていた。
- エ システム開発部門内に検証体制を作って移行結果の検証を行い, 移行完了としていた。

問 53 ソフトウェアパッケージ購入に関する監査において監査人自身が行う手続のうち, 適切なものは
どれか。

- ア 自社開発と購入の場合の費用対効果をそれぞれ分析し, 比較して, ソフトウェアパッケージを選定する。
- イ ソフトウェアパッケージに適合するハードウェア性能の検討が行われていることを確認する。
- ウ ソフトウェアパッケージを提供する企業の財務内容が健全かどうかを調査する。
- エ ほかの同種のソフトウェアパッケージに関する資料を取り寄せ, 価格, 性能などを比較する。

問 54 月末に売上計上を行う販売情報システムにおいて, 架空売上に対する監査上の判断のうち, 適切なものはどれか。

- ア 月初に前月分の売上取消件数が多いが, 月間の販売目標を達成しているため, 大きな問題はないと判断した。

- イ 月初に前月分の売上取消件数が多いので, その原因を確かめた上で不正が行われていないかどうか判断することにした。
- ウ 月末に当月分の売上取消件数が多いので, 月間の販売目標の達成状況を確認することにした。
- エ 月末に当月分の売上取消件数が多いので, その原因を確かめた上で不正が行われていないかどうか判断することにした。

問 55 “ 情報セキュリティ監査制度 ” における保証型監査と助言型監査に関する記述のうち, 適切なものはどれか。

- ア 助言型監査とは, 監査上の判断尺度として情報セキュリティ管理基準を利用し, 情報セキュリティ上の問題点の指摘と改善提言は監査人の自由裁量で行う監査のことである。
- イ 助言型監査とは, 監査対象の情報セキュリティに関するマネジメントやコントロールの適切な運用を目的として, 情報セキュリティ上の問題点の検出と改善を命令する監査のことである。
- ウ 保証型監査とは, 監査手続を実施した限りにおいて, 監査対象の情報セキュリティに関するマネジメントやコントロールが適切であることを保証する監査のことである。
- エ 保証型監査とは, 監査の結果としてインシデントが発生しないことを保証する監査のことである。